

平成 27 年度 日本神経生理検査研究会 通常総会開催のご案内

平成 27 年 6 月吉日
日本神経生理検査研究会 会長 高橋 修

会員の皆様におかれましては、ますますのご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、関東では紫陽花が咲き始め、梅雨入り、そして初夏の匂いを漂わせております。

本研究会は平成 7 年に第 1 回目の研究会を千葉県で開催し、その後、団体として組織を作り上げ、全国 7 支部で会員数が 600 名を超えるようになりました。主旨は神経生理検査に関わる臨床検査技師の知識および技術向上を基本とし、また、メーリングリストを通じて会員の情報交換および交流にと活発に取り組んでおります。

臨床神経生理学会では、この活動と実績を認められ、認定技術師の更新点数が 2 点から 5 点にアップされました。さらには、神経伝導検査および脳波検査での保険点数の改訂に関わり、目的達成に貢献できました。また、人的には、理事 1 名、代議員 15 名を擁しており、そのうちの半数は各委員会に配置されております。

日本臨床衛生検査技師会では、生涯教育研修制度認定団体として登録されており、また、多くの会員が技師会の学術活動に参加しております。具体的には、将来的に教科書的なことを目指す神経生理分野の教本作成や精度管理事業、全国研修会が最近における主な活躍の場で、年間を通して必ず「神経生理」という企画があるように、技師会にもしっかりと根を張ることができました。これは皆様のこれまでの行動および努力の結果が生んだ結果であり、心から感謝を申し上げますとともに、責任の重大さを感じております。今後とも技師会や学会活動にも多くの会員に参画していただき、神経生理分野を発展させていただけたら幸いに思います。

さて、平成 26 年度の活動は、第 19 回全国研修会、北海道支部研修会、東北支部研修会、関東甲信越支部研修会、中部支部研修会、近畿支部研修会などの研修会が行われ、内容の充実した情報交換と多くの人的交流があったことと思います。

全国研修会は当会の発祥の場であり、今年は第 20 回という記念すべき開催となります。開催は毎年 1 回なので、早 20 年、長く続いたものだと実に感慨深いものがあります。振り返れば、この長い年月に多くの方々と巡り合い、勉強に遊びに素晴らしい思い出が作れたことはとても幸せに思っています。これからも可能な限り、会員の皆様が交流できる場として開催して参りたいと存じます。

総会は時代の流れに合わせた「電子総会」を行いますので、ネットを通じて多くの会員に参加していただいて、ご意見やご提案などを賜りたいと存じます。

今後も皆様とともにアットホーム的な雰囲気、メーリングリスト、全国および支部活動を通じて情報を共有し、神経生理検査の普及に取り組んで参る所存です。

最後に、執行部一同、当会の発展に最大の努力をして参る所存ではありますが、会員の皆様が主役ですので、より一層盛り上げていただけますようお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

平成 27 年度日本神経生理検査研究会 通常総会(電子会議方式) 式次第

- 1) 議長選出
- 2) 議案の提案と審議検討 (会期:平成 27 年 6 月 24 日～平成 27 年 7 月 8 日) 14 日間
 - (1) 1 号議案
平成 26 年度事業報告、収支決算、監査報告(H26.4.1-H27.3.31)
 - (2) 2 号議案
平成 27 年度事業計画案、予算案 (H27.4.1-H28.3.31)
 - (3) 3号議案
平成 27 年度年役員信任案
- 3) 審議と採択(当会ホームページより投票):議案一括採択方式とする
会則第 5 章 18 条『総会成立は、会員数の 1/10 の投票参加で成立とし、可否は投票数の過半数で決す』
- 4) 採択結果報告(ホームページにて中間報告と最終報告)

1号議案

平成 26 年度事業報告及び収支決算 (H26.4.1-H27.3.31)

【I 事業報告】

- 1) 評議委員会の開催
 - ・平成 26 年度通常総会開催に先立ち、議案書(案)の審議を(H26.9.16-10.5)に開催した。
 - ・提出した議案書についてほぼ変更することなく承認が得られた。
- 2) 平成 26 年度通常総会を電子会議形式にて開催。総会会期 (H26 年 10 月 8 日～10 月 24 日, 17 日間)
期間中会員数推移: H26 年度年会費納付会員 473 名, 未納会員 60 名
 - (1) 執行部推薦にて片山副会長を議長とし H26. 10. 8 に通常総会(電子会議形式)を開会した。
10/11 に会員数の 1/10 を越える 56 票(総会員数 473 名)となり総会成立を宣言。
 - (2) 投票の中間報告をメーリングリストにて 4 回, ホームページ 2 回の広報を行った。
 - (3) 10/24 閉会した。最終結果は総投票数 199 票(投票率 42%)

- ・承認 199 票、保留 0 票、非承認 0 票であり、会則第 5 章 18 条『総会成立は、会員数の 1/10 の投票参加で成立とし可否は投票数の過半数で決す』の規定により平成 26 年度総会議案書は承認された。
- ・なお、ご意見は 5 票あり、すべて会運営の激励の文言でした。

- (4) 最終投票支部別結果をホームページにて広報しました。
- 3) 執行部会の開催。(H27. 1. 22, 石郷, 片山, 瀬川, 欠席:高橋・河島)
 - ・全国研修会の運営について、予算明細, 配布資料の印刷方法, 備品と消耗品の扱い, および次期開催候補地の検討などについて議論を行った。
- 4) 日本神経生理検査研究会会員名簿の発行 <次年度へ継続>
 - ・H27 年 5 月現在, H27 年度年会費納入者, H27 年度のみ会費未納者, H26-H27 年度未納のための動退会者などの名簿整理実行中であり, 整理完了次第に印刷配布予定をしている。

【Ⅱ. 平成26年度決算報告】

平成 26 年収支決算書 (H26. 4. 1～H27. 3. 31) (会員数 572 名) 単位 (円)

収入の部	予算	決算	決算明細
1. 会費	600,000	636,250	会費、入会金合計。 複数年度納入があるため会員数の乗算ではない。 H25 年年会費¥250×13 名、 H26 年年会費¥1000×572 名、入会金¥1000×61 名
2. 事業収入	380,000	346,600	平成 26 年度日本神経生理検査研究会学術講演 会員¥3000×52 名、非会員¥5000×38 名 資料代¥600
3. 雑収入	100	190	利子(64+126)
1. 2. 3. の小計	980,100	983,040	
4. 繰越金	388,041	316,141	
1. 2. 3. 4の合計	1,368,141	1,299,181	

支出の部	予算	決算	決算明細
1. 事業費	910,000	844,782	
H25 年度全国研修会 運営費	475,000	458,941	講師料(医師 2 名分・交通費・宿泊費込) ¥97000, 講師料(技師 3 名分・交通費・宿泊費込) ¥50500, 講師懇親会費¥26000, 印刷代諸経費¥8065, たれ幕 ポスター類¥11304, 会場費¥9824, 実務委員活動費(交 通費・宿泊費込)(7)¥51500, 総会事務費(5) ¥173000, 飲食費¥29715, 消耗品¥2033、
研修会補助	50,000	112,341	
表彰	10,000	10,000	会長賞: 八木和広さん
会員名簿発行・配布	100,000		
支部活動補助金	275,000	263,500	¥500×527 名
2. 事務費	142,000	48,123	
会議費	30,000	30,000	執行部活動費
通信費	12,000	12,000	執行部通信費
執行部行動費	50,000	0	
消耗品費	20,000	6,123	はがき・インク代
案内通信費	20,000	0	
予備費	10,000	0	
1. 2. 支出小計	1,052,000	892,905	
3. 次年度繰越金	316,141	406,276	(収入総計¥1299181) - (1.2. 支出小計 ¥892905) の差額=¥406276 を次年度繰越金と する
1. 2. 3. の合計	1,368,141	1,299,181	

[学術活動]

1. 全国主催

1) 平成 27 年 1 月 24 日(土):平成 26 年度第 19 回全国研修会, 於 岡山

中四国支部で初めての全国研修会開催で岡山大の会員の協力により盛会に終了

▼テーマ:『土台(基本)をしっかり固めよう!』

講義1. 神経伝導検査でわかること、わからないこと 高松 直子先生(徳島大学神経内科)

講義2. 神経伝導検査のポイント ～糖尿病神経障害を中心に～ 片山 雅史先生(国際医療福祉大学)

講義3. 術中神経モニタリングと合併症 ～アンケート調査を中心に～ 瀬川 義朗先生(神戸市立医療センター中央市民病院)

講義4. 術中脊椎髄モニタリング入門 藤原 靖先生(広島市立安佐市民病院整形外科)

講義5. 脳波を楽しく読む 飛松 省三先生(九州大学医学部脳研生理)

2. 支部主催

1) 北海道支部

(1) 平成26年9月13(土)～14日(日)、第59回神経生理検査勉強会(第18回宿泊研修セミナー)

テーマ「神経伝導検査の役割とその手技から報告書まで」

講演1『神経伝導検査の実際と検査手技のこつ』高野 良二 技師〔株)第一岸本臨床検査センター／中村記念病院〕

特別講演『脳機能研究の最前線』講師:菅野 彰剛 先生〔東北大学 加齢医学研究所〕

ナイトセミナーⅠ『実技講習会』 検査3種×各15分 ※下記から3つ選択していただきます。

ナイトセミナーⅡ『症例検討会』

ナイトセミナーⅢ『自由実習』 基礎から応用まで、色々実習しよう!

講演2『私と神経伝導検査のあゆみ』講師:山田 和司 技師〔元勤医協臨床検査研究所〕

講演3『神経伝導検査の報告書の書き方』講師:遊佐 純教 技師〔釧路労災病院〕

(2) 平成27年2月28日(土)、第59回勉強会、テーマ「聴力障害・顔面神経麻痺の臨床～診断と治療に活かす誘発電位～」

講演1「耳鼻咽喉科領域における神経生理検査－ENoGやABRでわかること－」

北斗病院 副院長 耳鼻咽喉科・頭頸部外科部長 坂東 伸幸 先生

講演2「術中脳神経モニタリングのトラブルシューティングと最新診断法」

旭川医科大学 脳神経外科学講座 教授 鎌田 恭輔 先生

2) 東北支部

平成26年7月26日(土)、第4回 東北支部勉強会、東北大学病院

講義1:～ シリーズ 術中モニタリング 2 ～「刺激法・記録法の基本」 島県立医科大学病院 脳神経外科 板倉 毅 技師

講義2:「発作に遭遇したら・・・ビデオ脳波で学ぶてんかん学入門」東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野 神 一敬 医師

講義3:「神経伝導検査所見のとらえかた : とくに振幅の評価法について」 青森県立中央病院 神経内科 馬場 正之 医師

3) 関東甲信越支部

(1) 平成26年10月5日(日)、第23回勉強会in横浜、テーマ『自分を磨こう』～脳波検査の電極装着から判読まで～

A:基礎コース、B:小児コース、C:意識障害コース

講義 本日の予定・実習説明、脳波電極装着方法 谷中弘一 技師(獨協医科大学 日光医療センター)

実技 脳波電極装着

講師:石井みゆき技師、奥山純子技師、星野哲技師、高梨淳子技師、田中理技師、河島江美技師、

谷中弘一技師、パーマン治代技師、鶴岡尚志技師、齋藤江美子技師

講義 脳波判読に必要な基礎知識

講師石井みゆき 技師(横浜市立大学附属市民総合医療センター)

実技 脳波判読 講師:脳波電極装着と同じ

(2) 平成27年3月22日(日)、第24回神経生理検査勉強会、山梨大病院

講義1:シリーズ 神経伝導検査Q&A 講師 齋藤 江美子 技師(丘整形外科病院)

講義2:正しい判読ができるPSG検査のために 講師 川名 ふさ江 技師

(順天堂大学医学部循環呼吸睡眠医学講座、ゆみのハートクリニック睡眠統括)

4) 中部支部

(1) 平成26年9月6日(土)第22回勉強会 テーマ:「耳鼻咽喉科領域の神経生理検査を学ぼう」

実技講習「顔面神経検査ハンズオン」 樋口恵一 技師(松阪中央総合病院)

講義「聴性脳幹反応と聴覚路」 岡山安幸 技師(済生会松阪総合病院)

特別講演「聴力検査について」 岩田知之 医師(小牧市民病院 耳鼻いんこう科)

(2) 日時:平成27年3月14日(土)第23回勉強会テーマ:「しっかり学ぼう神経生理検査の臨床応用」

講義1「高齢者の脳波」 石郷景子 技師(大垣市民病院)

講義2「体性感覚誘発電位の基礎と臨床応用」 山内孝治 技師(大隈病院)

特別講演「神経伝導検査のTips」 内藤 寛 医師(伊勢赤十字病院 神経内科)

5) 近畿支部

(1) 平成27年3月21日(土) 第4回研修会 神戸

講義1「神経モニタリングアンケート2014結果報告」 神戸中央市民病院 瀬川義朗技師

講義2「モニタリングに役立つ誘発電位の分布(SEP)」 神戸中央市民病院 瀬川義朗技師

講義3「神経モニタリングの基礎知識」 山口大学脳神経外科 丸田雄一技師

「神経モニタリング症例ディスカッション」①神戸市立医療センター中央市民病院松下隆史技師

②大西脳神経外科病院 池田紘二技師③山口大学脳神経外科丸田雄一技師

6) 中国四国支部

(1) 平成26年9月6日(日)第3回勉強会in広島、テーマ:～キャッチアップ神経生理学検査～

講義 1 「 ME の基礎 とノイズ対策 」

佐野仁先生 (日本光電工業株式会社)

講義 2 「 長時間記録ビデオ脳波同時モニタリング～てんかん手術に至るまでの脳波検査～ 」

丸田雄一先生 (山口大脳神経外科)

講義 3 「 VEP 検査の基礎から術中モニタリングまで 」 瀬川義朗先生 (元天理 よろづ相談所医学研究所)

7)九州支部

(1)第 44 回日本臨床神経生理学会学術大会 in 福岡への参画とスタッフ協力

3. その他事業

特記なし

【 III. 会員表彰 】

奨励賞・会長賞ともに該当者なし

【 IV平成 27 年度 監査報告 】

[監査報告書]

平成 27 年 6 月 13 日

日本神経生理検査研究会
会長 高橋 修 殿

平成 26 年度の監査を実施しましたので下記の通り報告します。

会計監査 水野久美子 (印)

記

1. 会務について、事業計画を円滑かつ確実に遂行されていることを認めます。
2. 会計について、会計収支に不正なく現金および通帳等は正確に整っていることを認めます。

2号議案

平成27年度事業計画案および予算案(H27. 4. 1～H28. 3. 31)

【 I. 事業計画 】

1. 組織, 運営に関すること
 - 1) 会員が神経生理検査の質向上に寄与し, 社会に広く認知されるように本会の組織のさらなる活性化および人材育成を行っていく.
 - 2) 会員の情報交換の場として活用されているメーリングリストの適切な運営と, さらなる充実を図る.
 - 3) 会員間の情報交換をより円滑に進めるための一助として名簿発行を行う
 - 4) 支部活動の充実を図るための援助を行う.
 - 5) 年1回の総会を電子総会として開催する.
2. 学術関連における他団体との連携に関すること.
 - 1) 日本臨床衛生検査技師会や日本臨床神経生理学会は, 認定制度や生涯教育における従来の交流を継続するとともに, 新しい制度や検査項目などの情報を収集する.
 - 2) 専門学会との交流は, 臨床検査技師が関わる日本臨床神経生理学会を中心とするが, 神経学会や末梢神経学会などの新規の団体などの交流も視野に入れて, 研究会の充実と会員の利便性を図る.
 - 3) 日本脳脊髄モニタリング研究会などの専門技術交流が図れる団体等には積極的に情報交換を図り, 会員の技術育成に関与する.
3. 表彰事業に関すること.

会員のモチベーションの上昇を考慮し, 表彰制度を推進する.

[学術活動]

1. 全国主催

- 平成27年8月22日(土), 第20回研修会, 於 東北大学医学部保健学科大講義室
講義1「動脈瘤クリッピングとMEPモニタリング」 佐々木 達也先生(青森県立中央病院脳神経外科)
講義2「誘発電位のファーストステップ&セカンドステップ」
杉山 邦男先生(東邦大学医療センター大森病院)
講義3「神経伝導検査～日常検査としての定着のために～」 片山 雅史先生(国際医療福祉大学)
講義4「てんかん診療と脳波検査の最新動向」
中里 信和先生(東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野)

2. 支部主催

1) 北海道支部

- (1)平成27年9月頃、第61回神経生理検査勉強会(第19回宿泊研修セミナー) 予定
- (2)平成27年3月頃、第62回神経生理検査勉強会 予定

2) 東北支部

- (1)平成27年8月22日, 全国研修会開催に併合

3) 関東甲信越支部

- (1)平成27年10月11日(日) 第25回研修会,「脳波実技講習会」, 山梨甲府共立病院(定員 40名)
- (2)平成28年2月下旬(日) 第26回研修会, 昭和大学旗の台キャンパス

4) 中部支部

- (1)平成27年8月29日(土) 第24回研修会, テーマ :「神経生理検査のstep up ～新たな発見～」
講義「術者から信頼される術中モニタリングを行うために」杉山 邦男技師(東邦大学医療センター大森病院)
講義「神経伝導検査と神経筋エコーを併用してわかること」高松 直子技師(徳島大学病院)
特別講演「救急脳波のABC」久保田 有一医師(朝霞台中央総合病院脳外科)
- (2)平成28年3月中旬 第25回中部支部勉強会

5) 近畿支部

平成28年3月頃予定:決定しましたら、メーリングリストやホームページにてお知らせ致します。

6) 中国・四国支部

未定:決定しましたら、メーリングリストやホームページにてお知らせ致します。

7) 九州支部

- (1)第13回 神経生理検査研究会 九州支部講演会
- (2)第1回 神経生理検査研究会 九州支部研修セミナー
- (3)協賛:平成27年8月1日 第27回九州臨床神経研究会

【Ⅱ. 平成27年度予算計画書】

H27 年度収支予算書 (H27. 4. 1～H28. 3. 31)

単位 (円)

収入の部	前年度決算	予算	予算明細
1. 会費	636,250	600,000	年会費、入会金 (見込み) H27 年年会費¥1000× 550 人、入会金¥1000× 50 人
2. 事業収入	346,600	380,000	20th 全国研修会： 会員¥3000×60名、非会員¥5000×40名
3. 雑収入	190	200	利子
1. 2. 3. の小計	983,040	980,200	
4. 繰越金	316,141	406,276	
1. 2. 3. 4の合計	1,299,181	1,386,476	
支出の部	前年度決算	予算	予算明細
1. 事業費	844,782	973,000	
H27 年度全国研修会 運営費	458,941	538,000	講師料¥30000×2, ¥10000×2, 講師交通費 (+宿泊 費) ¥160,000, 講師懇親会費¥2,0000, 会場費 ¥20000, 印刷代諸経費¥20000, 実務委員活動費 (6) ¥18000, 総会事務費 (6) ¥200000, 飲食費¥20000
研修会補助	112,341	50,000	
会員名簿発行・配布	0	100,000	
表彰	10,000	10,000	
支部活動補助金	263,500	275,000	¥500× 550 =¥275000
2. 事務費	48,123	142,000	
会議費	30,000	30,000	¥5000×6
通信費	12,000	12,000	¥2000×6
執行部行動費	0	50,000	
消耗品費	6,123	20,000	
案内通信費	0	20,000	
予備費	0	10,000	
3. 支出小計	892,905	1,115,000	(1.) + (2.)
4. 次年度繰越金	406,276	271,476	(収入総計¥1386476) - (3. 支出小計 ¥115000) の差=¥271476 を次年度繰越金と する
合計	1,299,181	1,386,476	

3号議案 平成 27 年度年役員信任案

日本神経生理検査研究会役員案 (下線は今年度より新役員)

1. 執行部役員

会長	高橋 修	(市川市リハビリテーション病院)
副会長	片山 雅史	(国際医療福祉大学)
副会長	石郷 景子	(大垣市民病院)
事務局長	瀬川 義朗	(自宅)
会計	河島 江美	(北里大学東病院)

2. 支部代表者

北海道支部	高柳 由佳	(釧路孝仁会記念病院)
東北支部	三浦 祥子	(東北大学)
関東甲信越支部	谷中 弘一	(獨協医科大学日光医療センター)
中部支部	<u>田中 夏奈</u>	<u>(小牧市民病院)</u>
近畿支部	佐々木 一朗	(神戸市立医療センター中央市民病院)
中国・四国支部	丸田 雄一	(山口大学)
九州沖縄支部	<u>八木 和広</u>	<u>(潤和会記念病院)</u>

3. 評議員会(順不同・敬称略・執行部役員および支部長) 12 名

高橋 修	(市川市リハビリテーション病院)
片山 雅史	(国際医療福祉大学)
石郷 景子	(大垣市民病院)
瀬川 義朗	(自宅)
河島 江美	(北里大学東病院)
高柳 由佳	(釧路孝仁会記念病院)
三浦 祥子	(東北大学)
谷中 弘一	(獨協医科大学日光医療センター)
<u>田中 夏奈</u>	<u>(小牧市民病院)</u>
佐々木 一朗	(神戸市立医療センター中央市民病院)
丸田 雄一	(山口大学)
<u>八木 和広</u>	<u>(潤和会記念病院)</u>

4. 会計監査

水野 久美子	(名古屋市立大学)
--------	-----------

5. インターネット運営委員(順不同・敬称略)

瀬川 義朗	(自宅)
他 1 名	募集中(どなたかお手伝いを希求いたします)

6. 表彰推薦委員 (順不同・敬称略)

片山 雅史	(国際医療福祉大学)
丸田 雄一	(山口大学)